



### 商学部アワー&学部長アワー

今年度より、商学部では学生と教員とのホットな対話を大切に考えて、「商学部アワー」と「学部長アワー」を実施しています。授業のこと、商学部のこと、その他何でも気軽におしゃべりしに来てください！

商学部アワーは、授業期間中の毎週木曜日のお昼休みに、宗教主事室（商学部事務室の隣）で実施しています。商学部の教員数名が、皆さんをお迎えします。学部長アワーは、毎月1回（商学部掲示板に案内します）、宗教主事室で実施しています。商学部長の梶浦先生が、直接皆さんの相談にのってくれますよ！

### 「大阪ブランド・ルネッサンス」をテーマに 商学部主催学術講演会を開催

本年度第1回商学部主催学術講演会を榊大広ナレッジ開発局部長で商学部のアドバイザー・パネルでもある妹尾俊之氏を講師に迎えて5月23日（火）に開催。約260名の参加者がありました。副題を「ブランドの意味生成力によって都市を活性する」とし、大阪を取り上げ、大阪ブランド・コミッティの活動やその一環としての都市再生戦略の試みについて講演されました。大阪に付き添うマイナス・イメージ、ブランド戦略の発展と都市ブランディング、大阪人の意識調査、大阪のブランドヒストリー分析、ブランド創造都市にむけての大阪ブランドのコア・アイデンティティなどについて語られました。出席した学生は熱心に聞き入り、また、質疑応答も盛り上がりました。

### マナー向上キャンペーン

5月15日、18日の両日、2006年度のマナー向上キャンペーンが実施され、本学部の石淵順也助教授ほか計16名の教職員が参加した。

県西高前交差点、甲東園駅前、正門前、中央芝生の4ポイントでパンフレットの配布によ

る啓発活動が行われたが、参加教員からは、「信号無視する学生が多い」「近隣住民から、交通マナーが悪いとの苦情が寄せられている実態を理解した」「ビラを配布していたら近隣住民からキャンペーンに対する理解と感謝があった」「中央芝生で球技を行っている学生に注意はしたが、運動が出来る施設の開放が必要と感じた」などの意見があった。

また、同じ日程で並行して行われた自動車通学禁止・バイク通学自粛キャンペーンにも、本学部の伊藤正範専任講師ほか計16名の教職員が参加、生協前市道ほか4個所のポイントで不法駐車の実態調査を行った。その結果は、2日間での関学生による不法駐車台数は昨年に引き続きゼロと良好な状況だった。

### 2006年度笹森奨学金、 6人の受給者が決定

商学部奨励奨学金（笹森奨学金）の受給者6名が、6月14日の商学部教授会で決定。21日昼、基金拠出者である故笹森四郎名誉教授（元商学部教授）のご令室、笹森一枝氏を招いて商学部会議室で授賞式が行われた。

同基金は1994年に設立され、年間支給枠6名のうち3名を外国人留学生の成績優秀者に、残る3名分を日本人成績優秀者に10万円の学資を支給するもので、これまで67名の学生が奨学金の恩恵に浴している。

授賞式当日、学生に奨学金を直接手渡された笹森一枝氏は、「故人はいつもく自分の後半生は関西学院、そして商学部とともにあった」と話していましたが、その思いが商学部で大切に生かされていて嬉しく思います。」と話されていた。



### 新企画！ 商学部オブジェ紹介

Q. この写真と同じオブジェ（レリーフ）が商学部本館のどこかにあります。さて、どこにあるのでしょうか？（このオブジェについては裏面をご覧ください。）




## 春学期定期試験迫る!

ついこの前、入学式で多くの新入生の皆さんをお迎えしたと思ったら、春学期も残り約2週間となりました。この学期で学んできたことの理解度を「点検」する定期試験が2006年7月14日(金)～28日(金)に行われます。定期試験は学力のチェック・ポイント。皆さん、フェアな精神で悔いの残らないよう頑張らしましょう!

### ～オブジェの説明～

キャンパス内にある建物には必ずいくつかのレリーフが装われています。上ヶ原キャンパスの数あるレリーフの中でも、商学部にあるものは非常に凝ったデザインであるという理由で今回表面のレリーフ(オブジェ)を取り上げました。しかしながら、残念なことにこのレリーフの詳しい謂われは伝わっていません。今回調べたところによると、「スパニッシュ・ミッション」の様式に使用される「サラセン模様」の一種であるという説と、ギリシア神話に登場する**商業の神**ヘルメスの杖(カドゥケウス)の蛇を描いたものではないかという説がありました。(なお本学のエンブレムの一部や商学部のシンボルマー

クとなっているもカドゥケウスをデザインしたものです。) 読者の皆さんはどちらの説だと思われますか?(ご意見などがあれば商学部アワーでお知らせください。)

さて、表面のクイズの答えですが皆さんも一度探してみてください。答えは次号(No.7)に掲載します。

## 教員の著書・出版

### 藤沢武史 教授

編著『アメリカ新発見』(晃洋書房)  
頒価1,700円 2006年6月10日発行

### 禪野美帆 専任講師

単著『メキシコ、先住民共同体と都市一都市移住者を取り込んだ「伝統的」組織の変容』(慶應義塾大学出版会)  
頒価6,000円+税 2006年2月28日発行

## 教員の受賞

### 新倉貴士 教授

著書『消費者の認知世界：ブランドマーケティング・パースペクティブ』(千倉書房刊)で示された研究内容を対象として、2006年6月3日付けで、日本商業学会から学会賞奨励賞を受賞。



## << 教員紹介 >>



### 今井 譲 教授

最近では構造改革のもと、厳しい競争社会になってきました。大学時代は人生の大切な時期です。目標をしっかりと立て、実力をつけて社会に出て欲しいものです。しかし一方で世の中は他人のことを考えるゆとり、思いやりが欠け、ともすれば倫理観も乏しいものになりつつあります。このような時代こそ一層関学大の学生はキリスト教主義にもとづいて心にゆとりを持ち、他人を思いやる心、高い倫理観を身につけて欲しいものです。是非チャペルアワーには出席して、自分の心をしっかりと見つめて、豊かな人生を送れる人間になってくれますことを期待しています。



### 柿原 正郎 専任講師

商学部に着任以来、某日本人歌手に似ていると学生から言われ続けて早3年。自分では似ていないと思いつつも、言われ過ぎて最近では諦めて認めるようにしています。自分はおっぱら洋楽ファンで、iTunes Music StoreやYouTubeなどの音楽・動画配信サービスを使って、仕事もそっちのけで海外の最新ヒット曲を追っかけています。これもすべてインターネットのおかげ。スゴい時代になったもんです。そんなインターネットの魅力が授業を通じて皆さんとも共有できればと思っています。

